



# WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦会長スローガン =

## “ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30~ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3406例会	No. 25	2025.1.29	
点鐘・ロータリーソング	12時30分	「日も風も星も」	
四つのテスト		豊田裕康君	
例会行事		会員卓話（豊田裕康君）	

## 会長時間



RI理事会は、クラブだけではなく、各ロータリアンも職業奉仕の理想を日常するように強調するために、職業奉仕に重点を絞ったプログラムを行う「職業奉仕月間」を定めました。今月がその職業奉仕月間になります。「職業奉仕月間」中、RI理事会がクラブに推奨する具体的な活動には、ロータリー親睦活動への参加を推進したり、職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱することなどです。職業奉仕とは、ロータリーの第2奉仕部門であり、その目的には、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれます。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズにこたえたれるようなプロジェクトを開発することが含まれます。また、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれます。

別の言い方をしますと、会員一人ひとりが自身の職業を通じて社会に貢献し、倫理的に高い基準を守りながら行動することを目的とした理念や活動のことを指します。これはロータリーの基本的な理念である「超我の奉仕」に基づいており、職業を通じて人々や地域社会に奉仕するという考えが核になっています。この「超我の奉仕」とは、ポーランドで開催された第2回大会で、ミネアポリスのB・フランク・コリンズという方が、他人のために尽くす意義と重要性を説き、ロータリークラブは “Service, Not Self” を根本精神としなければならないと強調したそうです。その後、この言葉は “Service Above Self” と修正され 1950 年ロータリーのモットーとして公式に採用されました。1989 年には規定審議会によりロータリーの第一標語として指定されました。話が少しそれましたが、具体的な活動や考え方として、自身の職業において高い倫理基準を維持し、公正な取引や透明性を心がけることや、他者の信頼を得る行動をする。自分の専門知識やスキルを地域社会の発展に役立てる。この専門知識を役立てるというのは、例えばですが、医師であれば無料の医療相談や健康促進活動を行う、弁護士であれば法律相談を提供する、私の場合だと、自動車整備振興会の青年部に在籍していた時に開いた「マイカ一点検教室」など、自分の職業を活かしたボランティア活動を行うことだと思います。

若い世代の支援も重要で、若者のキャリア支援や教育活動を通じて、次世代のリーダーを育成したり、職業体験の提供や、学生への指導なども職業奉仕にあたります。すなわち、私たちが毎年行っている「就職支援セミナー」は青少年奉仕だけではなく、職業奉仕にも当たるということとなります。従業員や取引先に対して公正な対応を行い、働きやすい環境を提供したり、社会全体で公平なビジネス文化を育てるのも我々ロータリアンのなすべきことではないでしょうか。

その為にも、「四つのテスト」の実践は大変重要なことです。

真実かどうか？ みんなに公平か？ 好意と友情を深めるか？ みんなのためになるかどうか？

この言葉を胸に日々の活動を行いたいものです。

少し時間が余りましたので、先ほど出てきました私が行った職業奉仕である「マイカ一点検教室」について少しお話したいと思います。この「マイカ一点検教室」というのは、日本自動車整備振興会連合会が毎年行っているもので実際には各支部が担当します。基本的には9月に開催され、ラジオ・SNSなどで日ごろの点検の重要性、整備の必要性を周知します。各支部では、趣向を凝らして点検教室を開催します。BBQを開催したり、ソーラーカー試乗体験をしたりとたくさんの方々に参加してもらうために、四苦八苦します。日南支部では、このマイカ一点検教室は青年部が担当することになっていまして、半日程度の教室を開催します。最近は日南学園の看護科の学生さんを対象に教室を行っているのですが、学校側に好評で毎年の恒例になりつつあります。これから免許を取得しようとしている学生や、免許取り立ての学生たちが相手ですので、車の点検について学んでもらい、少しでも安全運転の啓発活動になればと思い行っています。教室は、1時間程度の座学、その後実車を使って座学で学んだことの実践をしていただきます。点検といつても、工具を使ってまでのものではなく目視によるてんけんのやり方を教えていきます。実際にボンネットを開け、エンジンルームを見て座学で説明した装置や点検場所を確認してもらうのですがわからない方が結構います。座学で使用した教科書を使い、記載されているイラストを見てもらい説明します。教材の車は、生徒さんの通常乗っている車とは違いますので具体的なマークや取付位置などを説明して、こういう風に点検してくださいねと説明します。この時に学んでもらう点検は、実は車を運転する前にしなければならない日常点検です。灯火類の点灯状態、オイル、冷却水、ウォッシャー液の量、タイヤの空気圧、残り溝などを点検します。運転前の義務ですので、怠ると罰せられることがあります。具体的な例を挙げてみると、よく灯火類、ライトですが片方もしくは両方、点灯しないまま走っている車がありますが、これは整備不良にあたり警察に見つかると反則切符を切られる恐れがあります。実際に、ブレーキのランプが点灯しないからと来店されたお客様の後に、原付の警察官がやってきて、整備不良で切符を切っていました。気の毒でなりませんでした。修理に来たのだから許してあげよと思いました。警察官にもよると思いますが、1度目は見逃してくれる人もいます。ですが、指摘を受けたときにはすぐに修理することをお勧めします。嘘か誠かナンバーを控えておいて警察の中で共有し、2度目は切符を切るといううわさを聞いたことがあります。まあこれは実際にやる方が大変でしょうから単なるガセネタだと思いますが、同じ警察官の場合、向こうが覚えていた場合はやはりやばいでしょう。

## 幹事報告

### 1. クラブ公共イメージ向上のためのセミナー開催について

本日、事務局あてに地区事務所より標記セミナーの参加人数が少ない状況から、再度の参加要請が届いております。同セミナーの詳細につきましては、別紙のとおりとなっておりますのでお時間の都合がつく会員は、事務局までお知らせください。

### 2. ロータリー日本財団日本事務局より”財団室 NEWS 2月号”が届いております。

## 例会行事

## 会員卓話 豊田 裕康 君

No  
PHOTO

久しぶりの卓話ですので何を話そうかと思ったのですが、たまには仕事の話をしようと思います。みなさん実感があるかどうか分かりませんが、この 20 年で犯罪の認知件数が激減していることは存じでしょうか。刑法犯の認知件数は平成 8 年から毎年戦後最多を更新して、平成 14 年には約 285 万件にまで達しましたが、15 年に減少に転じ、令和 5 年度は約 70 万件でピーク時の 4 分の 1 以下にまで減少しています。原因としては、刑法犯の 7 割以上を占める窃盗の認知件数が大幅に減少し続けていることがあります。犯罪の激減によって全国的に留置場の統廃合が進んでおり、福岡では留置場の統廃合を進めて人員整理を行い、ここ数年件数の増えている「匿名・流動型犯罪グループ（匿流）」対策のための特殊犯罪捜査課（100 名）を昨年創設するなど組織改革が進んでいます。日南でも昨年の 3 月で留置場が廃止されましたが、これは主に老朽化が原因で、日南署と串間署で逮捕勾留された被疑者は宮崎南署の留置場に入ることになります。私は平成 20 年 3 月に横浜の法律事務所から日南の事務所に来て、これまで多くの刑事事件を担当していましたが、さきほど申し上げたとおり日南署の留置場が閉鎖されて刑事事件をほぼやらないことから、過去の担当事件をまとめてみました。全部まとめて配ろうかと思ったのですが、自分でも思っていたより多くの事件を担当していて延べ 133 件もあり、書類にまとめるのは断念しました。過去の事件で印象に残ったものとして、H21 の少年事件があります。新聞テレビで報道されたので記憶のある方もいらっしゃるかもしれません、日南市内のある高校の野球部員が集団窃盗団として日南じゅうの家に忍び込んで窃盗を繰り返し、当時の日南市内の窃盗事件はこの高校の野球部員とその小中の時の同級生であった他校の生徒がほぼ関わっていました。被害弁償をしたり、この事件が報道されて野球部が大会出場停止となつたことで他の野球部員や保護者に謝罪するために生徒と一緒に高校に行ったりしました（高校 2 校と小学校 1 校に謝罪に行きました）。このときは日南市内の 3 つの高校で十数人が退学処分となりましたが、私が担当した一人の生徒の保護者からは、退学後通信制の高校で勉強をして就職することもできたと便りがありました。共犯関係の少年事件の保護者は、だいたい自分の子は悪くないという態度（周りに唆されたり、逆らえなかつたと主張）をとることが多いのですが、この保護者の方だけはきちんと少年を叱っていました。H23 に白昼女子高生に下半身を露出した少年事件を担当したのですが、その後、これも報道されたので記憶にある方もいらっしゃるかもしれません、令和 2 年に担当した下着泥棒（自宅から約 400 着の女性用下着が押収）の被害者の一つが下半身を露出した少年の自宅であることがわかり、奥さんの下着が盗まれたということで、あの時の露出犯がきちんと結婚をして世帯を持っていることに安心しました。H24 の自動車運転過失致死の事件では、ご高齢の方が運転する軽トラックが被害者の方に衝突して亡くなられたのですが、運転をしていた方が事故をおこしたショックで認知症が進んで体調も悪化し、裁判期日の前に亡くなられました。交通事故は被害者とその家族だけでなく加害者も不幸にしますので、ほとんどの事故がちょっとした不注意が原因ですから、日々緊張感をもって運転することが必要だと思います。私も海岸線を運転して宮崎方面から日南に向かっていたところ、居眠り運転の大学生が運転する車両がセンターラインをオーバーしてきた私の車と衝突したことがあります。朝まで油津で高校時代の友人と遊んで自宅に帰る途中だったということで、幸いお互い怪我をしなかったから良かったものの、若いとは言え無謀なことをするものだと叱った記憶があります。薬物犯罪も毎年のように担当していましたが、温暖な日南串間は大麻草の栽培に適しているようで、自宅で栽培してつかまるケースが多いです（万引きでつかまって家宅搜索されたら庭で大麻を栽培していた、日に当てるために屋根に鉢を置いてたら隣家人に通報された、自宅で 88 株を本格的装置で栽培していた、公園に植えて栽培していたら張り込み中の警察に逮捕された）。大麻を購入するケースでは、最近はレターパックで購入している方が多いです。これまで一件だけシンナーで捕まった方を担当しましたが（毒物劇物取締法違反）、有機溶剤を長年吸うと脳が萎縮するため、幻覚や幻聴がでていて受け答えも要領をえず、話をしていてこちらが恐ろしくなりました。大麻については、県外からサーフィン目的で移住してくる方が多く（私が担当した大麻所持・栽培犯は 1 件を除き県外からサーフィン目的で移住してきた方が被疑者被告人）、留置場のアクリル板越しに「大麻は体に悪影響がない」と自説を述べ続ける方がいてうんざりしました。大麻の身体への影響の有無については議論があることは間違いないのですが、法令で禁止されていることは当然ですが、覚醒剤等の薬物犯罪への入り口になることが問題で、栽培している方は最初は自分だけで楽しむつもりでも他人に譲り渡すようになり薬物犯罪のネットワークに入っていってしまうことが多いため、大麻への関わりを一度持つと犯罪組織との関わりを絶つことが困難になります。一時期、親の年金を頼って生活していた人が、親の死亡後も遺体を放置して年金を

受領し続ける事件を立て続けに受任したことがあるのですが、腐って朽ちていく親のご遺体と同じ家の中で生活し続ける被告人の気持ちは理解しかねました。おそらく都会であれば異臭等で周囲から通報される可能性が高いのでしょうかが、私が担当した件はいずれも隣家との距離がある一軒家であったために周囲が気づかなかつたようです。身内の高齢者や障害者の年金を頼りに生活をしている世帯が日南にも多く存在し、度が過ぎると行政が動いて私のような専門職が後見人等に就任することがあり、私が家族から本人の通帳を取り上げてもお金を無心してくる方もいて対応に苦慮することがあります(絶対にお金を渡しませんか)。ちょうど今日、そういうケースで身内から通帳を取り上げた方の会議が愛泉会で1時30分からあるため、少し早いですが、私の卓話を終了とさせていただきます。

## スマイル

本日はありませんでした。

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率(%)
今週	30	7(5)	25	14	3	8	17	68.00%
出席免除	落丸、小玉、清水、野崎、渡邊、							
先取MU	入中、甲斐、竹井							
欠席	石灘、榎木田、鬼束、斎藤奈々、西島、花盛、日高、古澤							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斎藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jpまで送信してください